

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2027年11月5日まで（2021年4月6日設定）
運用方針	<p>外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスC・JPY・アキュムレーション）への投資を通じて、主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。</p> <p>設定日から2022年10月までは、原則として、株式部分（外国投資法人の投資信託証券をいいます。以下同じ。）への投資からドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行います。また、株式部分以外は、原則として、マネー・マザーファンドや短期金融資産に投資します。</p> <p>2022年11月以降は株式部分を高位に組入れることを基本とします。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	<p>ビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト 投資ファンド 2021-04 (限定追加型)</p> <p>ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p>
	<p>ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド クラスC・JPY・アキュムレーション</p> <p>日本を含む世界各国の株式等を主要投資対象とします。</p>
	<p>マネー・マザーファンド</p> <p>わが国の公社債等を主要投資対象とします。 外貨建資産への投資は行いません。</p>
主な組入制限	<p>投資信託証券への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。</p>
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド2021-04 (限定追加型)

愛称：ビルドアップ型 ポジティブ・チェンジ

第2期（決算日：2022年6月27日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「ビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド2021-04（限定追加型）」は、去る6月27日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

運用のポイント

ベイリー・ギフォードでは1世紀以上にわたって長期的視点での投資を行っており、その中で何度も世界的な危機局面を経験しています。その中で、危機時においても長期的視点を持ち、反射的な投資行動は避けるべきであるということを読んでおり、これは当ファンドにおいても生かされています。

当期の運用においては、米国長期金利の上昇などを受け、短期的なバリュエーション懸念から下落する銘柄もありましたが、当ファンドでは長期的には株価はファンダメンタルズに従うと考えており、長期的な業績拡大が期待でき、社会に好ましいインパクトをもたらすことが期待できる銘柄については保有を継続しています。また、インパクト分析の強化や継続的な投資先企業との対話を通じて、持続可能な社会の実現に向けたポジティブな影響を与えることを引き続き目指しています。

ポートフォリオ概況

主な新規組入銘柄

外国語学習のオンラインプラットフォームを通じ、世界的に幅広く効率的な語学学習の機会を与えることなどを期待して、「DUOLINGO」を新規に組み入れました。

主な全売却銘柄

緑内障治療技術に関する競争が激化する中で、当社の成長性への期待が低下したことなどから、「GLAUKOS CORP」を全売却しました。

ポジティブ・チェンジ戦略が創出したインパクト (2020年12月末時点)

ASML HOLDING NV (平等な社会・教育の実現)

同社の製造する露光装置 (リソグラフィー) は半導体製造において重要なプロセスを担います。同社のリソグラフィーはより短い波長の光を使用することで、より細かい半導体設計を可能とし、トランジスタのサイズを小さくすることを可能にしています。同社の製品は、エネルギー効率の良い半導体製造や、より小型で高性能な電子機器の製造に役立っており、誰もが情報やサービス等にアクセスできるような社会基盤の構築に貢献することを期待しています。

同社は2020年に258のリソグラフィーシステムを販売しており、この内31が極端紫外線 (EUV) リソグラフィーシステムです。EUVは、従来より短い波長の光を使用する技術で、同社は世界で唯一のEUVメーカーです。

TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC (平等な社会・教育の実現)

同社は継続的な投資で半導体の高性能化と低コスト化を実現しています。これはインターネットへのアクセスの低価格化の他、エネルギー効率の向上や、医療の進歩へ

の貢献といったインパクトをもたらしており、誰もが情報やサービス等にアクセスできるような社会基盤の構築に貢献することを期待しています。同社は2020年に、12インチウエハー換算で1,240万枚を出荷しています。

エンゲージメント (2021年12月末時点)

ASML HOLDING NV (平等な社会・教育の実現)

サステナビリティ戦略マネージャーのルーシー・ロー氏との会談を実施し、同社の気候変動関連の目標と視点について掘り下げました。運用チームは同社が2019年に報告を開始したスコープ3排出量について議論しました。ロー氏はこの分野が未だ道半ばであると認めました。同社は、サプライヤーによる報告を促進すべきであると公に主張しています。同社は、気温上昇を1.5℃以下に抑えるというシナリオに沿った直接排出量目標を掲げ、取り組みを強化しなければならないことを率直に認めている数少ない企業の一つです。今後のステップとしては、エネルギー、水、温室効果ガス等の適切にコスト算入された資源が、現在の半導体サプライチェーンの地理的な配置を攪乱する可能性について考察を続けること等が挙げられます。

TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC (平等な社会・教育の実現)

半導体受託生産を行う大手ファウンドリーである同社の半導体製造事業への理解を深めるために、投資家向け広報部門との会談を実施しました。長期的な成長を牽引する要因、同社が投資の優先順位をどのように決めているか、価格設定へのアプローチ、競争環境の変化等、様々なテーマについて話し合いました。また当ファンドは、同社が今後10年間で地理的な事業領域の拡大を計画している主な理由が、地政学的要因、台湾への依存度を引き下げたいという意向、及びグローバルな人材を引き付けることにあると学びました。対話を通して、同社による投資、価格設定、顧客との協力への長期的なアプローチは非常に明確でした。



ベイリー・ギフォード&カンパニー
パートナー (共同経営者) インベストメントマネージャー
ケイト・フォックス

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み	騰落率				
(設定日)	円	円	%	%	%	%	百万円
2021年4月6日	10,000	—	—	—	—	—	1,739
1期(2021年6月25日)	10,065	0	0.7	26.1	—	15.8	2,264
2期(2022年6月27日)	8,519	0	△15.4	0.0	—	71.3	1,836

- (注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。
 (注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
 (注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
 (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
 (注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。
 (注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率
	騰落率	騰落率			
(期首)	円	%	%	%	%
2021年6月25日	10,065	—	26.1	—	15.8
6月末	10,083	0.2	25.6	—	20.9
7月末	10,160	0.9	23.8	—	26.5
8月末	10,305	2.4	18.5	—	32.4
9月末	10,164	1.0	16.0	—	36.6
10月末	10,295	2.3	14.4	—	42.1
11月末	10,075	0.1	8.2	—	45.3
12月末	9,938	△1.3	9.2	—	50.2
2022年1月末	8,987	△10.7	6.0	—	50.2
2月末	8,962	△11.0	5.4	—	55.4
3月末	9,798	△2.7	5.1	—	65.3
4月末	9,166	△8.9	0.0	—	67.5
5月末	8,765	△12.9	0.0	—	72.0
(期末)					
2022年6月27日	8,519	△15.4	0.0	—	71.3

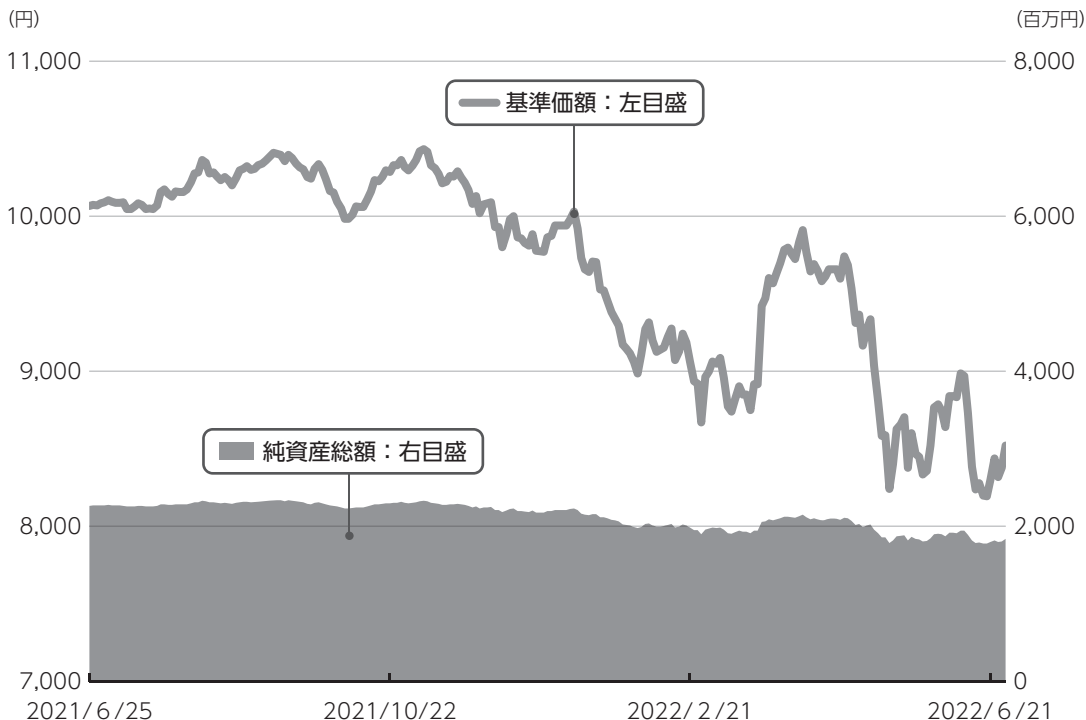
- (注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。
 (注) 騰落率は期首比。
 (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
 (注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第2期：2021年6月26日～2022年6月27日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第2期首	10,065円
第2期末	8,519円
既払分配金	0円
騰落率	-15.4%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ15.4%の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

下落要因

保有銘柄（ILLUMINA INC、MERCADOLIBRE INCなど）が下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第2期：2021年6月26日～2022年6月27日

投資環境について

▶ 株式市況

グローバル株式市況は下落しました。

期首から2021年8月にかけては、新型コロナウイルスのワクチン接種進展に伴う経済正常化や良好な企業業績などを背景に上昇しました。

10月から12月にかけては、新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」に対する懸念などを受けて下落する局面もありましたが、企業の7-9月期決算発表の内容が良好であったことなどが好感され上昇しました。

2022年1月から3月にかけては、ウクライナ情勢の緊迫化を受けた資源価格の上昇などを受けて、インフレ長期化が懸念されたことや、各国の金融引き締めに対する懸念が高まったことなどを背景に下落しました。

その後は、米国などのインフレ長期化や

ロシアによるウクライナ侵攻の影響が引き続き懸念されたことに加えて、都市封鎖に起因する中国景気減速懸念が高まったことなどから下落しました。

▶ 為替市況

期首に比べ、米ドルやユーロは対円で上昇しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.040%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド 2021-04（限定追加型）

株式部分については、設定時から2022年10月までドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行い、その後は高位に組入れることを基本とします。

当期は、定期的に一定金額を外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスC・JPY・アキュムレーション）に投資し、組入を増やしました。また、マネー・マザーファンドの投資信託証券や短期金融資産に投資しました。

▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション

日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、個別企業に対する独自の調査に基づき、好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行いました。

当期の主な新規組入および全売却銘柄は以下の通りです。

主な新規組入銘柄

外国語学習のオンラインプラットフォームを運営する「DUOLINGO」を新規に組入れました。

主な全売却銘柄

緑内障治療用の医療器具の開発などを手がける「GLAUKOS CORP」を全売却しました。

▶ マネー・マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第2期
	2021年6月26日～2022年6月27日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	64

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド 2021-04（限定追加型）

外国投資法人であるベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスC・JPY・アキュムレーション）へ、ドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行います。

株式部分以外は、マネー・マザーファンドの投資信託証券や短期金融資産に投資します。

▶ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド・クラスC・JPY・アキュムレーション

引き続き、主として日本を含む世界各国の株式等に投資を行います。

ポートフォリオの構築に際しては、個別企業に対する独自の調査に基づき、好ましい社会的インパクトをもたらす事業によって、長期の視点から成長が期待される企業の株式等に厳選して投資を行う方針です。

ウクライナ情勢やインフレ長期化などによる世界経済への影響、各国の金融当局

による金融引き締め動きに対する懸念などから、不安定な相場展開が続く可能性があります。短期的な株価の変動は長期的な成長が期待される企業へ割安な価格で投資する機会を生むと考えています。

引き続き、「平等な社会・教育の実現」、「環境・資源の保護」、「医療・生活の質向上」、「貧困層の課題解決」の4つのインパクト・テーマの実現に貢献する事業によって、長期の視点から成長が期待される企業への投資を行う方針です。

また、銘柄の選定に際しては、社会的課題への取り組みや企業の競争力等について徹底的な調査・分析を行う「ファンダメンタルズ分析」と、専門チームが社会や環境への影響度を分析する「インパクト分析」の2つの分析を実施して、ポートフォリオを構築します。

▶マネー・マザーファンド

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2021年6月26日～2022年6月27日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	71	0.735	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(37)	(0.382)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(32)	(0.332)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	71	0.738	

期中の平均基準価額は、9,655円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

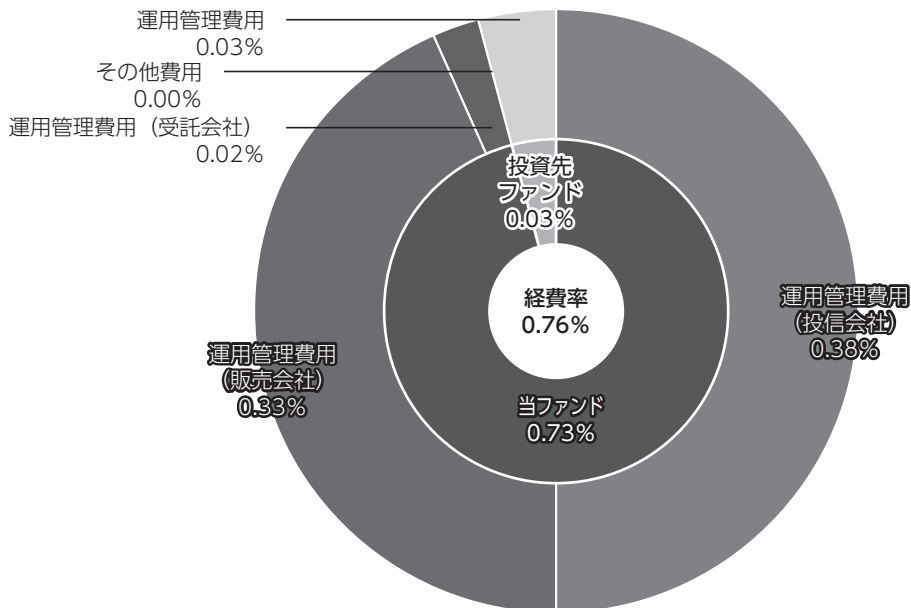
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）は0.76%**です。



経費率 (①+②)	(%)	0.76
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.73
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.03

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、前記には含まれておりません。

○売買及び取引の状況

(2021年6月26日～2022年6月27日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド・クラスC・JPY・アキュムレーション	千口 929	千円 2,250,000	千口 417	千円 975,000

(注) 金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 1,044,112	千円 1,043,394

○利害関係人との取引状況等

(2021年6月26日～2022年6月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年6月27日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド・クラスC・JPY・アキュムレーション	千口 139	千口 651	千円 1,309,685	% 71.3
	合計	千口 139	千口 651	千円 1,309,685	比率 71.3

(注) 比率はビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド2021-04 (限定追加型) の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄		期首(前期末)	当期末	
		口数	口数	評価額
	マネー・マザーファンド	千口 1,044,312	千口 200	千円 199

○投資信託財産の構成

(2022年6月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 1,309,685	% 70.9
マネー・マザーファンド	199	0.0
コール・ローン等、その他	536,443	29.1
投資信託財産総額	1,846,327	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年6月27日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,846,327,098
コール・ローン等	520,441,339
投資証券(評価額)	1,309,685,800
マネー・マザーファンド(評価額)	199,959
未収入金	16,000,000
(B) 負債	9,392,711
未払金	2,000,000
未払信託報酬	7,363,338
未払利息	643
その他未払費用	28,730
(C) 純資産総額(A-B)	1,836,934,387
元本	2,156,263,402
次期繰越損益金	△ 319,329,015
(D) 受益権総口数	2,156,263,402口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,519円

<注記事項>

- ①期首元本額 2,249,443,169円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 93,179,767円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8519円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は319,329,015円です。

③分配金の計算過程

項 目	2021年6月26日～ 2022年6月27日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	－円
分配準備積立金額	13,912,594円
当ファンドの分配対象収益額	13,912,594円
1万口当たり収益分配対象額	64円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

○損益の状況（2021年6月26日～2022年6月27日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 160,522
受取利息	2,405
支払利息	△ 162,927
(B) 有価証券売買損益	△317,435,986
売買益	17,068,135
売買損	△334,504,121
(C) 信託報酬等	△ 15,767,943
(D) 当期損益金(A+B+C)	△333,364,451
(E) 前期繰越損益金	13,752,598
(F) 追加信託差損益金	282,838
(配当等相当額)	(△ 9,957)
(売買損益相当額)	(292,795)
(G) 計(D+E+F)	△319,329,015
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△319,329,015
追加信託差損益金	282,838
(配当等相当額)	(△ 9,957)
(売買損益相当額)	(292,795)
分配準備積立金	13,912,594
繰越損益金	△333,524,447

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<参考> 投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドークラスC・JPY・アキュムレーション
運用方針	日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）のうち、持続可能であらゆる人々を受容する世界の実現に向け、好ましい社会的インパクトをもたらす製品、サービスの提供や、かかる事業活動を公正かつ誠実に実施する企業の株式等への投資を行い、長期的な信託財産の成長をめざします。
主要運用対象	日本を含む世界各国の株式等
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一の発行体が発行する株式等への投資比率は、原則として純資産総額の10%以内とします。 ・ 新興国の株式等への投資額は、合計して純資産総額の50%以内とします。 ・ ロシアの金融商品取引所に上場されている株式等へは投資を行いません。ただし、先進国の金融商品取引所に上場されているロシアの株式等は投資対象とします。
決算日	毎年9月30日
分配方針	原則として分配を行わない方針です。

運用計算書、純資産変動計算書、投資明細表はANNUAL REPORT AND AUDITED FINANCIAL STATEMENTS FOR THE YEAR ENDED 30 SEPTEMBER 2021版から抜粋して作成しています。

なお、開示情報につきましては、シェアクラス分けされたものがないため、ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンドで掲載しています。

(1) 運用計算書

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド

(2020年10月1日～2021年9月30日)

	ベイリー・ギフォード・ ワールドワイド・ ポジティブ・チェンジ・ ファンド
	米ドル
収益：	
投資収益	8,180,447
銀行受取利息	—
その他収益	2,134
損益を通じて公正価値で測定する金融資産及び金融負債に係る損益（純額）	286,127,841
投資（損）益合計	294,310,422
費用：	
運用受託報酬	(1,641,795)
事務処理手数料	(1,666,373)
監査報酬	(15,588)
法務及び専門家報酬	(84,043)
事務管理手数料	(494,482)
預託手数料	(514,473)
ディレクター報酬及び費用	(8,268)
その他費用	(25,109)
運用費用合計	(4,450,131)
費用清算	—
純費用	(4,450,131)
分配	—
金融費用	(129)
純損益	289,860,162
源泉徴収税	(1,743,837)
純資産の純増加（減少）額	288,116,325

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(2) 純資産変動計算書

ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド

(2020年10月1日～2021年9月30日)

	ベイリー・ギフォード・ ワールドワイド・ ポジティブ・チェンジ・ ファンド
	米ドル
純資産期首	225,347,177
投資信託証券の純発行額	2,434,574,117
分配再投資	—
投資信託証券の純償還額	(115,881,276)
純増減額	2,318,692,841
純資産の純増加（減少）額	288,116,325
純資産期末	2,832,156,343

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(3) 投資明細表 (STATEMENT OF INVESTMENTS)
**ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ポジティブ・チェンジ・ファンド
(2021年9月30日現在)**

銘柄	残高	時価 (USD)	対純資産比率 (%)
Equities			
Belgium - 3.62% (30 September 2020: 3.21%) Umicore SA	1,737,528	102,513,838	3.62
Brazil - 5.39% (30 September 2020: 4.11%) MercadoLibre Inc	91,967	152,810,528	5.39
Canada - 3.43% (30 September 2020: 2.66%) AbCellera Biologics Inc Shopify Inc Class A	948,703 58,623	18,419,069 78,899,230	0.65 2.78
China - 1.43% (30 September 2020: 2.19%) Alibaba Group Holding Ltd	2,212,312	40,409,017	1.43
Denmark - 7.64% (30 September 2020: 8.01%) Chr Hansen Holding A/S Novozymes A/S Class B Orsted A/S	687,280 806,300 759,624	57,608,066 56,441,944 102,354,081	2.04 1.99 3.61
Germany - 1.77% (30 September 2020: 1.92%) Sartorius AG	78,424	50,056,078	1.77
India - 3.12% (30 September 2020: 0.00%) Housing Development Finance Corp Ltd	2,380,108	88,288,253	3.12
Indonesia - 2.34% (30 September 2020: 1.80%) Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	245,903,005	66,232,740	2.34
Japan - 3.26% (30 September 2020: 6.02%) M3 Inc	1,292,400	92,473,448	3.26
Kenya - 0.71% (30 September 2020: 0.67%) Safaricom PLC	52,510,100	20,017,991	0.71
Netherlands - 7.92% (30 September 2020: 5.00%) ASML Holding NV	290,882	224,348,064	7.92
South Africa - 1.82% (30 September 2020: 1.90%) Discovery Ltd	5,768,516	51,506,578	1.82
Sweden - 3.40% (30 September 2020: 2.99%) Nibe Industrier AB Class B	7,594,165	96,229,860	3.40
Taiwan - 6.25% (30 September 2020: 5.92%) Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd	8,495,000	177,001,400	6.25
United Kingdom - 0.82% (30 September 2020: 0.81%) FDM Group Holdings PLC	1,338,567	23,133,856	0.82
United States - 45.30% (30 September 2020: 46.51%) 10X Genomics Inc Class A ABIOMED Inc Anylam Pharmaceuticals Inc Berkeley Lights Inc Beyond Meat Inc Coursera Inc Deere & Co Dexcom Inc Ecolab Inc Illumina Inc Moderna Inc Peloton Interactive Inc Class A Teladoc Health Inc	464,807 196,048 405,132 552,074 400,902 1,522,432 293,222 268,190 251,460 276,318 666,504 375,996 400,057	67,868,794 64,551,745 71,876,494 10,751,641 42,629,914 47,081,210 102,925,320 146,239,984 53,496,858 113,749,068 252,551,696 32,096,898 50,367,176	2.40 2.28 2.54 0.38 1.50 1.66 3.63 5.16 1.89 4.02 8.92 1.13 1.78

銘柄	残高	時価 (USD)	対純資産比率 (%)
Equities (continued)			
United States - 45.30% (30 September 2020: 46.51%) (continued)			
Tesla Inc	181,580	141,843,941	5.01
Xylem Inc	664,172	84,857,935	3.00
Total Equities		2,781,632,715	98.22
Financial Equity Assets at Fair Value through Profit or Loss		2,781,632,715	98.22
Financial Equity Liabilities at Fair Value through Profit or Loss		-	-
Total Financial Assets at Fair Value through Profit or Loss		2,781,632,715	98.22
Total Financial Liabilities at Fair Value through Profit or Loss		-	-
Other Net Assets		50,523,628	1.78
Net Assets Attributable to Holders of Redeemable Participating Shares		2,832,156,343	100.00
Analysis of Total Assets (Unaudited)			Total Assets %
Transferable securities admitted to an official stock exchange listing		2,781,632,715	96.79
Transferable securities dealt in on another regulated market		-	0.00
Transferable securities other than those admitted to an official stock exchange listing or dealt in on another regulated market		-	0.00
Financial derivative instruments		-	0.00
Other assets		92,333,142	3.21
Total Assets		2,873,965,857	100.00

マネー・マザーファンド

《第2期》決算日2022年1月19日

[計算期間：2021年7月20日～2022年1月19日]

「マネー・マザーファンド」は、1月19日に第2期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第2期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてわが国の短期公社債等に投資を行います。市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	券率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落率				
(設定日)	円	%		%		百万円
2021年1月19日	10,000	—		—		11
1期(2021年7月19日)	9,995	△0.1	55.7	—		1,348
2期(2022年1月19日)	9,992	△0.0	60.3	—		996

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	券率	債先物比率	券率
	円	騰落率				
(期首)	円	%		%		%
2021年7月19日	9,995	—	55.7	—		—
7月末	9,995	0.0	70.5	—		—
8月末	9,994	△0.0	55.8	—		—
9月末	9,994	△0.0	69.0	—		—
10月末	9,993	△0.0	62.9	—		—
11月末	9,993	△0.0	59.1	—		—
12月末	9,992	△0.0	65.9	—		—
(期末)						
2022年1月19日	9,992	△0.0	60.3	—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

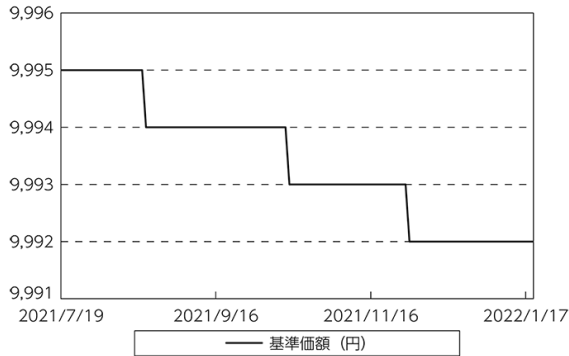
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べて0.03%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の変動要因

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。
- ・当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.026%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

消費者物価の前年比は依然として2%を大きく下回っており、今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2021年7月20日～2022年1月19日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2021年7月20日～2022年1月19日)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	93,509,481	93,659,126

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月20日～2022年1月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年1月19日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当		期		末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	600,000	600,630	60.3	—	—	—	60.3
	(600,000)	(600,630)	(60.3)	(—)	(—)	(—)	(60.3)
合計	600,000	600,630	60.3	—	—	—	60.3
	(600,000)	(600,630)	(60.3)	(—)	(—)	(—)	(60.3)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第1046回国庫短期証券※	—	600,000	600,630		—
合 計		600,000	600,630		

(注) ※印は現先で保有している債券です。

○投資信託財産の構成

(2022年1月19日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率		
公社債	千円	%		
	600,630	60.3		
コール・ローン等、その他	396,260	39.7		
投資信託財産総額	996,890	100.0		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年1月19日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	996,890,222
コール・ローン等	396,260,222
国債証券(評価額)	600,630,000
(B) 負債	253
未払解約金	3
未払利息	250
(C) 純資産総額(A-B)	996,889,969
元本	997,718,927
次期繰越損益金	△ 828,958
(D) 受益権総口数	997,718,927口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,992円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,349,298,434円
 期中追加設定元本額 1,646,662,517円
 期中一部解約元本額 1,998,242,024円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9992円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

GRAN NEXT マナーブルファンド	659,368,027円
ビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド2021-04(限定追加型)	309,877,630円
MUFG ウェルネス・インサイト・ファンド(マナーブル)	28,423,270円
GRAN NEXT モビリティ	10,000円
GRAN NEXT テクノロジー	10,000円
GRAN NEXT フード	10,000円
GRAN NEXT エネルギー	10,000円
GRAN NEXT ヘルスサイエンス	10,000円
合計	997,718,927円

- ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は828,958円です。

○損益の状況 (2021年7月20日～2022年1月19日)

項目	当期
	円
(A) 受取利息等収益	△ 456,087
受取利息	△ 383,337
支払利息	△ 72,750
(B) 当期利益(A)	△ 456,087
(C) 前期繰越損益金	△ 650,126
(D) 追加信託差損益金	△1,049,345
(E) 解約差損益金	1,326,600
(F) 計(B+C+D+E)	△ 828,958
次期繰越損益金(F)	△ 828,958

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。